

南砺市山田公民館

◆事業の目的

子どもたちが大人と一緒にふるさとの土を耕したり史跡にふれたりする体験をとおして、子どもたちの地域への愛着を深め、地域への所属感や絆を深める。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
5月12日(土)	親子で米づくり/田植え	北山田地区徳成地内	23名
5月13日(日)	花を育てよう/土作り	山田公民館、山田保育園	32名
5月26日(土)	親子でさつま芋作り/苗植え	北山田地区鍛冶地内	39名
6月3日(日)	花を育てよう/苗植え付け	山田公民館、山田保育園	37名
9月1日(土)	ふるさとの史跡めぐり	北山田、山田地区周辺	42名
9月29日(土)	親子でさつま芋作り/芋ほり	北山田地区鍛冶地内	37名
12月8日(土)	親子で米づくり/餅つき	北山田公民館	55名

◆事業の様子

☆ 親子で米づくり(田植え、餅つき)

手作業の田植えと杵と臼を使った餅つきを体験した。声を掛け合いながら苗の受け渡しやころがし等を行い、教えていただいた地域の人たちとふれあった。

☆ 花を育てよう(土作り、花苗植え付け)

約50㎡の公民館花壇作り。肥料撒きや鍬で耕す作業、苗の植え込みを行った。行事で公民館を訪れる度に大きく美しく育っている花々を感じ、地域に貢献している実感をもつ機会となった。

☆ 親子でさつま芋作り(苗の定植、芋掘り)

鍬を使っての畝作りやマルチがけ、苗の定植など、初めて行った子どもや保護者が多く貴重な体験に汗を流した。秋には沢山のさつま芋が実り、さつま芋のつるをはずす作業から大人と子どもが協力して行い、収穫時には大きな歓声が上がった。



☆ ふるさとの史跡めぐり

8kmコース、5kmコースに分かれて北山田地区の史跡(産子塚、田屋川原古戦場跡、宗守城跡、銭屋喜太郎終焉の地、火柱の跡)を訪れ、山田公民館まで歩いた。史跡では講師の方から解説を聞き、ふるさとを拓いた時代や人々に思いを巡らせた。



◆事業の成果と課題

家庭では触れる機会が無くなった水田や畑の作業では、畝づくりなどの慣れない作業にも親子や友達と一緒にすることで楽しんで体験することができ、地域の農作業や歴史への理解を深めたようだった。初めて隣接公民館との連携事業を行ったが、各館が行っている事業の運営方法をお互いに学ぶことができた。これから小学校区公民館との連携の工夫が必要であると思われる。